

# 横浜市立つづきの丘小学校 令和3年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
○<子どもに「生きる力」を育む学校>としての役割を、教職員が常に意識して教育活動を進めるとともに、子どもたち自身が、自ら「生きていく力をつけよう」とする学び合う学校の実現を目指します。
○教職員が相互に連携・啓発する活気ある運営組織を機能させ、「安全で楽しい学校」「わかる・楽しい授業」の実現により、子どもたちに生きる力を育てます。
○道徳教育、人権教育、特別支援教育の充実を目指し、自他の命の尊厳を理解し実践する力を育てます。
○家庭や地域、ブロック小・中学校との連携と協働を推進し、子どもたちが誇りと愛着をもって荏田東のまちを創ろうとする力を育てます。

#### (2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	子どもの体育・健康面の姿から課題を明確にし、体育科・保健体育科の授業を中心としながら、教育活動全体を通して健やかな体の育成を目指す。	①校内研修等による、体育科・保健体育科の授業改善を図る。 ②体力テストや独自指標等の結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の改善を図る。 ③体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	体育部	

### 2 体育健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・運動クラブに所属している児童は6割近くいるが、近隣の公園ではできる遊びが限られていることや、塾に通っている児童も多く、体を動かす習慣が身に付いているとは言えない。そのため、よく体を動かす児童と、そうでない児童との二極化が表れている。
- ・保健室の利用状況（傷病の状況）は、睡眠不足等の生活リズムの乱れから不調を訴える児童が多く見られる。また、周りへの不注意や状況判断の不適切さに起因するケースが多い。
- ・1校1実践運動の取組の様子をみると、楽しみにしながらしっかり取り組んでいる子どももいるが、学年が進むにつれ、参加する児童が減ってきている。

#### (2) 体力の概要と要因の分析

ほとんどの項目において全国平均と同等ではあるが、全身持久力（20mシャトルラン）・走力・投力は各平均を下回っている学年が多い。保護者の健康に対する意識は比較的高く、生活リズムに気を配っている家庭が多い。新体力テストの業者委託により、より詳しいデータ取得が実現し、一人ひとりの体育健康課題が明確になる。経年変化や成長の様子も正確に把握できる。

地域・学校をとりまく環境としては、センター南駅に近く、土地開発とともに遊歩道や緑道が張り巡らされ、自然がゆたかである。近隣に子どもが遊べる公園等もあり、外遊びの環境には比較的恵まれていて、本校運動場での放課後遊びも充実しているように感じる。

### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《体育科・保健体育科での取組》

体育科では、「新体力テスト」をもとに、体づくりの学習を系統的に位置付けて実践していく。また、自分と運動とのよりよい関係づくりを目指し「遊びを通じた関係づくり」「運動との出会い」「生涯運動との関係づくり」を、低・中・高学年で取り組める体育科学習経営を行っていく。

##### 《他教科での取組》

家庭科では、食教育との関連をもち、健康についての知識理解を深めるとともに、自らの生活習慣を振り返る。生活科や理科では特に生命の尊さを感じられるような学びを工夫していく。

#### 道徳・特活・総合

保健・運動委員会等で体育的な行事や、中休みの体力アップ運動を企画・運営し、休み時間の外遊びを促す。また、運動会では体育科で培った資質能力をさらに発展させられる指導をしていく。

保健指導等では、児童の健康面での課題を見つめ、自ら進んで健康であろうとする子どもの姿を育てるようにする。安全指導では、自ら危険を回避し、安全を確保することができるよう計画的に指導を行う。

自分の考えを相手に伝える力が低いので、コミュニケーションスキルトレーニングを継続して行う必要がある。

#### 課外活動

- ・中休み体力アップ運動の実践。
- ・毎週水曜日の朝レク、中休み時間を活用しての外遊びの奨励。
- ・「健康手帳」を活用して体育健康に関する情報を家庭と共有する。
- ・学校保健委員会(PTA学習会)等において、健康の保持増進に関する取組の推進。
- ・長縄集会を設定し、運動に取り組む習慣をつける。
- ・保健委員会による、休み時間・給食時の「手洗い・うがい」の励行。

#### 令和2年度 つづきの丘小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》つづきの丘体力アップ運動

《ねらい》運動の機会の確保。教員の指導力向上。児童の体力向上。

《内容》体育的行事や体力アップ運動を保健・運動委員会児童が企画・運営し、内容と取り組みの充実を図り、運動の楽しさを感じながら、体力の向上を図る。

(行事例)運動会、新・体力テスト、長縄集会、ラジオ体操、縄跳び

●指標：①行事後の振り返り「事前取り組み」「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日のスポーツ・運動の実施時間」から